



全身全霊で、あらゆる社会課題に挑む。

自治税務局企画課電子化推進室課長補佐

境 勝利 SAKAI Masatoshi

- 平成 25年 4月 総務省採用
自治行政局公務員部福利課
- 平成 25年 8月 京都府総務部自治振興課
- 平成 26年 5月 同 総務部財政課
- 平成 27年 4月 総務省消防庁予防課
- 平成 28年 7月 同 自治財政局地方債課
- 平成 29年 7月 同 自治財政局地方債課収益事業係長
- 平成 30年 4月 福井県健康福祉部長寿福祉課長
- 令和 2年 4月 同 総務部財政課長
- 令和 4年 4月 総務省自治行政局地域自立応援課過疎対策室課長補佐
- 令和 5年 4月 同 大臣官房秘書課人材戦略専門官
- 令和 6年 4月 現職

最前線で地域の危機に挑む

コロナ禍で緊急事態宣言が初めて出された令和2年4月。私は赴任先の福井県庁で、県の財政を預かる立場にありました。

社会不安が広がる中で、検査・医療体制の確保、休業要請に伴う協力金の支給など、対策を講ずるべき課題が次々と生じる日々。感染を抑え、県民の暮らしを守るためにどのような予算が必要か、知事や関係部局と日夜議論を重ね、議会との調整に奔走しました。自分の仕事に県民77万人の生活がかかっているプレッシャーと使命感。当時はその責任を果たすことに無我夢中でしたが、振り返れば、「自分たちの地域は自分たちで守る」という、地方自治本来の姿を学べた経験だったように思います。

全国レベルの制度的課題に挑む

そのコロナ禍を経て大きく進展したのがDXです。いまや手続や支払いがスマートフォンで完結することは当たり前。また、人口減少が進む中、自治体の業務効率化のためにもDXは欠かせません。

そうした中、私は現在、地方税務手続の電子化を担当しています。申告や納税といった納税者側から

の手続に比べて進んでいない、行政機関側からの「通知」の電子化に取り組み、令和7年度税制改正に、納税通知書等の内容を電子データで送付する制度の創設を盛り込みました。

こうした制度改革は、全国1,700余りの自治体全てに影響を与えるので、各自治体の実務の実態を踏まえて「最大公約数」を探る必要があるなど、自治体赴任時の業務とは異なる難しさもありますが、全国的な課題を解決するためのダイナミックな議論ができ、また違った達成感が得られます。

成長の機会は無限大

このように、住民の暮らしに直結する自治体での業務と、全国レベルの課題への対応が求められる霞が関での業務の両方を経験できることは総務省の大きな魅力です。

さらに、政策分野も幅広いため、キャリアパスを通じて実に多様な立場を経験することになります。そうした中で、その時、その場所で求められる役割を的確に把握し、力を発揮することは簡単ではありませんが、裏を返せば、それだけ幅広い能力を成長させられる機会があるということ。多種多様な経験の積み重ねが、人としての「厚み」につながるように思います。

そして、培った経験・能力を総動員して、全身全霊でまた新たな社会課題に挑んでいく。そんな総務省職員に、あなたもなってみませんか。



福井県では、タイの財団と連携して介護人材の育成に取り組んだことも(筆者左から4番目)



入省10周年を同期とお祝い!(筆者右端)

国、総務省でしかできないこと

現在、私が担当する政治資金監査制度とは、国会議員関係政治団体の収支報告の適正の確保を図るため、同団体が収支報告書を提出するときは、その支出等に関し、あらかじめ、収支報告書や会計帳簿等について、登録政治資金監査人(外部性を有する専門的第三者)による政治資金監査を受けなければならないというものです。

昨今の政治資金をめぐる状況に鑑み、政治資金監査制度も一部見直しが行われています。世界にも類を見ないと言われる同制度の設計・運用は簡単なものではありませんが、実務を担う監査人の方々に、民主主義の根幹にかかわる重要な制度をわかりやすく周知できるよう、有識者の方々や上司と日々議論しています。

地域・人への想い

大学時代、東京出身の私は、日本の良さは、それぞれの人が愛着を持つ多様な地域から形づくられているところにあるのではないかと、そうした地域を守っていきたくて漠然と思うようになりました。同

時に、国家公務員を志すのであれば、東京というあらゆる種特殊な環境だけを知っている状況を変えてみたいと思いました。

そんな私にとって総務省はまさに理想の環境でした。入省1年目の夏から熊本県に赴任し、素晴らしい方々と出会い、やりがいのある重要な業務や最高の自然・食事を存分に味わうことができました。今でも定期的に熊本を訪れ、こころのふるさとへの愛着を深めています。

職員1人1人が、つながりのある地域やそこで出会った方々に想いを馳せながら実感を持って働く、これが総務省の醍醐味であり、強みなのではないかと感じています。

地方や海外を含めた十人十色のキャリア

霞ヶ関では、地域おこし協力隊等の地域を元気にする施策、持続可能な行政サービスを提供するため地方公共団体間の広域連携を推進する取組や地方公共団体に対する公金納付のデジタル化に向けた取組など、幅広い制度・施策の企画立案に携わってきました。いつも周りには、多様な経験を持つ尊敬する上司や同僚がいて、楽しく前向きに、地に足のついた議論ができています。

皆さんも、こころのふるさとに出会い、制度・施策の企画立案を通じて恩返しを続ける総務省の魅力を感じてみませんか。



お世話になった熊本県庁の方々



同期と飲み会でリフレッシュ

つながりを大切に、実感を持って働く

政治資金適正化委員会事務局主査

城戸 彩花 KIDO Ayaka

- 平成 31年 4月 総務省採用
自治税務局市町村税課
- 令和 元年 7月 熊本県総務部市町村・税務局市町村課
- 令和 2年 4月 同 総務部財政課
- 令和 2年10月 総務省自治行政局地域自立応援課
- 令和 3年 9月 同 自治行政局市町村課
- 令和 5年 4月 同 自治行政局行政課
- 令和 5年 7月 同 自治行政局行政課主査
- 令和 6年 7月 現職

